



へぐり

自然と歴史の

玉手箱

—多彩な魅力を見つけよう!—

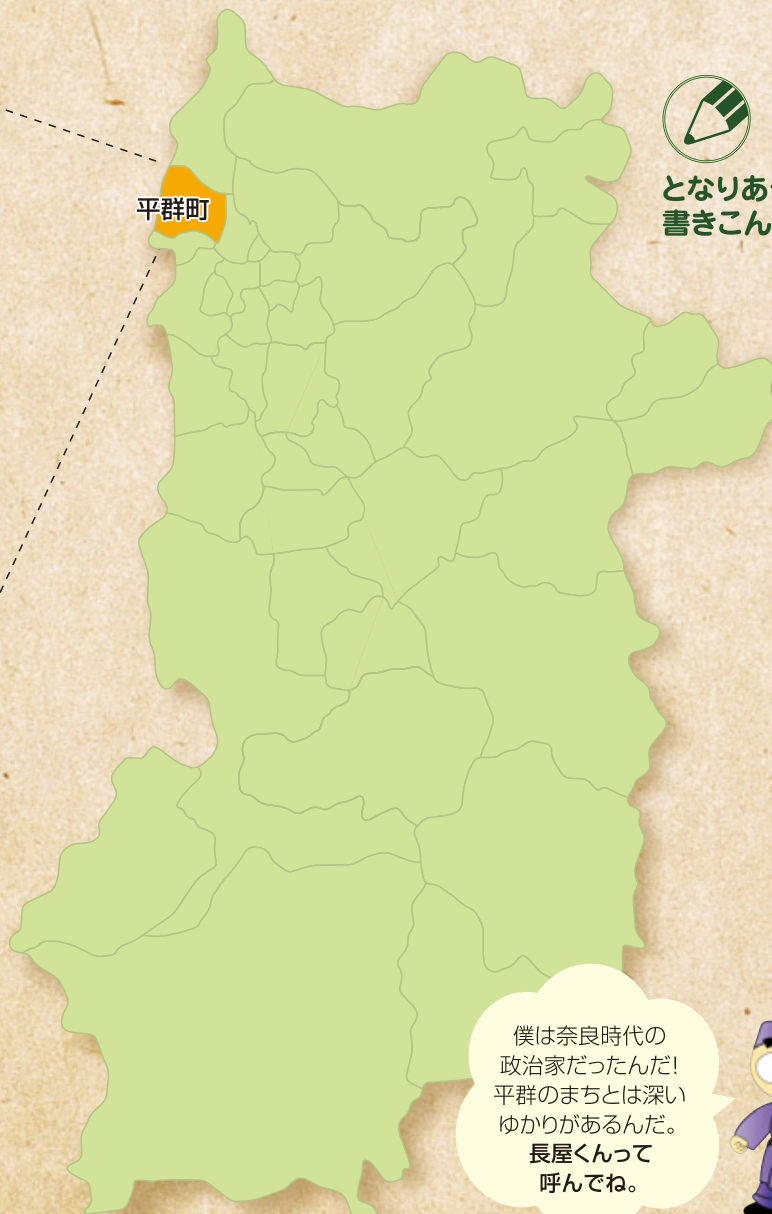


平群町

平群町って

どんなまち?

平群町は、奈良県の北西部に位置し、東に矢田丘陵、西に生駒山系があり、中央を竜田川が流れています。倭建命が「たみこも平群の山のくまがしが葉を…」と歌に詠んだように、周囲を緑深い美しい山々に囲まれています。はやくから文化が開け、名所・旧跡が数多くある、豊かな「自然」と「歴史」に恵まれたまちです。



となりあう市町を書きこんでみよう!

平群町のプロフィール

- ・東経 / 135度42分3秒
- ・北緯 / 34度37分6秒
(★位置:平群小学校校庭)
- ・海拔 / 60.79m
- ・面積 / 23.90km²
- ・東西 / 約5.5km
- ・南北 / 約6.0km

アクセス

近畿日本鉄道の生駒線が南北に通り、北は生駒で奈良線、南は王寺でJR大和路線に接続しています。また、生駒からは阪神なんば線で神戸に乗り換えなしでアクセスでき、ともに奈良や大阪の中心部へ1時間足らずで行くことができます。道路は、国道168号や第2阪奈道路、西名阪で奈良・大阪・京都の各地と結ばれています。

町章



平群町の「平」をデザイン化したもので、中央の2本の太い線は、発展の第一となる道路(大阪-奈良を結ぶ2本の道路)を表し、上下の矢印は、行き交うことを表現しています。

平群ブランド



二つのラインは矢田丘陵と生駒山系を、中央のサークルは竜田川を表現しています。グリーンは自然、ブルーは歴史、ライトグリーンは農産物、オレンジはくらしなど、平群の魅力を象徴しています。

僕は奈良時代の政治家だったんだ! 平群のまちとは深いゆかりがあるんだ。
長屋くんって呼んでね。



ながや 長屋くん

特産品



イチゴ



ブドウ



バラ



小菊[コギク]

町の花



菊[キク]

町の木



欉[かし]

平群観光マップ

まこと 左近くん

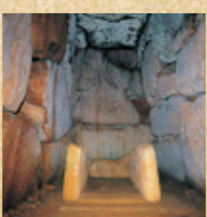


僕は平群出身の戦国武将だったんだ！平群の歴史を僕たちが紹介するよ！



張子の寅

世界一の福寅です。信貴山朝護孫子寺の門前で、首を振って迎えてくれます。



烏土塚古墳

全長約60mの平群最大の前方後円墳です。

樁井城跡

嶋左近のお城です。松永久秀のお城です。



へぐり人物絵巻

建国時代

倭建命

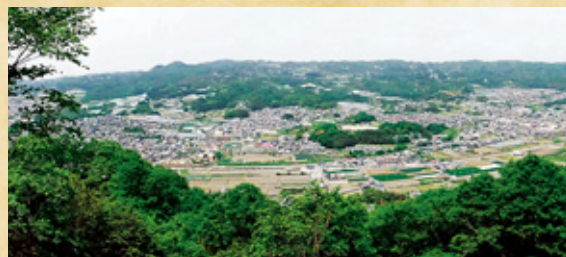
やまとたけるのみこと

倭建命



倭建命は第12代景行天皇の皇子。西方征伐から帰つてすぐに、景行天皇より東国に行けと言われました。東国の遠征の帰りに、伊吹山で神の化身である白い猪が現れ、なんとか逃げ出すことができましたが、病氣にかかつてしまいました。山を下つて能煩野につき、仮小屋で休養しましたがよくならず、国徳びの歌を詠み、あの世に旅立ちました。

●能煩野：伊勢国(いせのくに)の北部、現在の、三重県亀山市付近(みえけんかめやましふきん)



椿井城跡から見た平群のまちなみ

大和時代

平群木菟

「木菟誕生の話」

武内宿禰の四男の木菟が生まれるとき、産屋にサザキが飛び込みました。同じ日に生まれた仁徳天皇のほうにはミニスクが同時に飛び



平群木菟

平群鮪

「影姫物語」

平群氏の三代目の鮪は、大連物部鹿火の娘、影姫と相思相愛の仲でした。その影姫に皇太子(後の武烈天皇)が結婚をせまりました。

ちよと「リム」
国徳びの歌

命の全けむ人は

疊薦 平群の山の

熊白檮が葉を

髻華に挿せ その子

「わたしはとつてい大和には帰れぬ…みんなは生きて大和に帰ってほしい。無事に帰れたなら、疊んだ薦を広げたように美しい平群山の檜の大きな葉を髪に挿して感謝をするように…」と死の間際、心るさつを偲んだ歌が、古事記、日本書紀に記されています。

倭建命が平群のことを思い出してよんだ歌なんだね。

豪族・平群氏について

平群町の歴史はこの平群氏から始まり、5〜7世紀に平群町に本拠地とされています。平群氏は平群木菟を祖とする古代豪族の二つであり、仁徳天皇の大臣で、忠臣として日本書紀に記されています。また、仁賢天皇が亡くなったあと、二代目の真鳥は、さらに権力を強めました。



込んだと言われています。この縁から、二人の名前を交換して、大鷦鷯（後の仁徳天皇）と木菟が主従の関係を深めたと言われています。

●サザキ…スズメ目のミンサイ科の鳥

しょうとくたいし 聖徳太子

飛鳥時代のはじめ、仏教中心の国にしようとした聖徳太子が、仏教反対派の物部守屋との戦いに苦戦して、信貴山にお祈りした時、寅の年、寅の日、寅の刻に毘沙門天があらわれ、そのご加護により太子軍が戦勝しました。これにより太子が「信ずべき貴ぶべき山」信貴山」と名付けました。



信貴山



役小角



聖徳太子



平群鮪

たが、歌垣で断られました。それが仇となり、鮪は乃楽山（奈良市北部の丘陵）で多くの兵を集めた皇太子に殺されました。

●歌垣：若い男女が歌を詠（よ）みかわして求婚（きゆうこん）をする場で、断（ことわ）ることも自由

えんのおづぬ 役小角

現在の御所市に生まれ、金剛葛城山から信貴生駒山系で修行をしました。鳴川山に千光寺を開き、後に山上ヶ岳などの霊場を開くことから、前の修行場として「元山上」と呼ばれました。また、「修験道の開祖」とも言われています。

●修験道：山にこもり厳（きび）しい修行（しゆぎやう）をして、さまざまな「験（ごん）」「を（え）」を得（え）ることを目的（もく）としてい（い）る



千光寺

へくりのかみて 平群神手

587年、平群神手は聖徳太子軍の副将軍として、物部守屋と戦いました。また、平群郡那珂郷（三郷町勢野）に氏寺の平群寺（平隆寺）を建立して、聖徳太子の斑鳩進出を支えました。平群氏の支配地は平群郡の平群郷（平群町と生駒市の南半分）、那珂郷（三郷町）の範囲です。

へんの古墳のついで

平群町には100あまりの古墳があると知られ、剣上塚、烏土塚、三里古墳など優れた馬具を一緒に埋葬する古墳や、飛鳥時代のつぼり山古墳、西宮古墳などがあります。烏土塚の石室には巨石が、西宮古墳には精美な切石が使われるなど、平群氏の活躍を裏付けています。



三里古墳



西宮古墳

ながやおう

長屋王と平群について

長屋王は、天武天皇の皇子である高市皇子の子として生まれしました。長屋王は奈良時代の皇親政治家で、聖武天皇が即位すると左大臣(当時の総理大臣)に就任して、活躍しました。藤原氏の息子たちは聖武天皇夫人である、光明子(藤原氏の娘)を皇后にしようとしましたが、これまでに、

●皇親政治(こうしんせいじ)：天皇(てんのう)・皇族(こうぞく)中心の政治形態(せいじけい)のこと

皇族以外を皇后にした前例がないことから、長屋王に計画を反対されることが予想されました。そのことが「長屋王の変」と呼ばれる事件のきっかけとなりました。また、長屋王邸の遺跡から「平群廣足」や「平群廣成」の木簡が見つかり、長屋王と平群氏の絆が感じられます。

●木簡：木の札(ふだ)に墨(すみ)などで文字を記(し)したものです



長屋王の変

729年、長屋王邸に入り込んでいた塗部君足・中臣東人が「長屋王が国を傾けようとしている」と朝廷に密告して、すぐに宮廷を守る兵が長屋王の邸宅を包囲しました。翌々日、長屋王は謀反の罪で自害させら

れて、夫人の吉備内親王と4人の子とも自ら命を絶しました。



長屋王墓



吉備内親王墓(長屋王夫人)

草壁皇子と元明天皇の娘であり、長屋王の夫人です。長屋王の変で、自殺に追い込まれました。お墓は、長屋王のお墓から北西に150mほど離れた場所にあり、現状は直径20m、高さ2mほどの円墳です。

吉備内親王

きびないしんのう

吉備内親王



長屋王



長屋王と「風月同天」

山川異域 風月同天

奇諸仏子 共結来縁

長屋王は唐の高僧に、「山や川で地域が異なっているも、国は違っているも、風月のいとなみは、同じ空のもとで移り変わっています。…共に仏と縁を結びましょう」という意味をもつ詩句の「風月同天」を刺繍した袈裟を千枚送ったことにより、鑑真和上は、日本へ来ることを決意しました。

長屋王の墓について

長屋王と吉備内親王のお墓の正確な場所は明らかではありませんが、江戸時代に2人のお墓が、梨本にある2つの塚だという記録がのこされています。長屋王の変のあと、平群の人々が手厚く葬ったのではないかとされています。

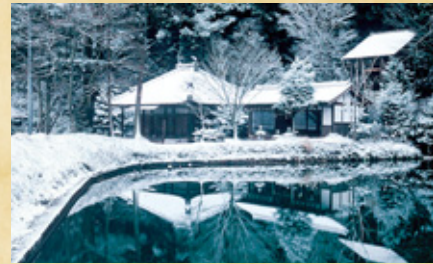
長屋王はみんなに尊敬されていただね。



道詮律師

どうせんりっし
平安時代前期の高僧。空海とも親交が深く、法隆寺夢殿の再興に努めました。また、福貴に隠居して、福貴寺(白山神社)を建立し、法隆寺に通い仏教を伝えたことから「福貴の道詮さん」と呼ばれ、慕われたと言われています。

道詮律師



白山神社(福貴寺)

命蓮上人

みょうれんしやうにん
信貴山を中興した僧侶で、醍醐天皇が病となったとき、劔鎧護法を枕元へ使いに飛ばして、病を治したと言われています。また、この功績により、信貴山寺は「朝護孫子寺」と朝廷から名前をつけました。

●中興：いったん衰(おとろ)えた物事(ものごと)や状態(じやうたい)を、再(ふたたび)盛(さか)んにすること



命蓮上人



銅造毘沙門天立像



金勝寺



行基菩薩

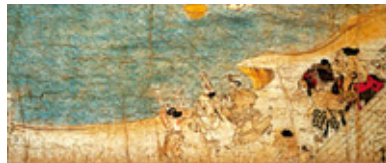
●布教僧：ある宗教(しゆっきやう)を広める僧侶(そうりよ)のこと

ぎやうきぼさつ
奈良時代、民間の布教僧として各地に橋をかけたリ、人々を救うための民衆救済の活動を進めました。東大寺の大仏建立の中心としても活躍して、大僧正となります。また、生駒・平群谷への布教拠点として、金勝寺を創始したと言われています。

行基菩薩



尼公(あまぎみ)の巻



飛倉(とびくら)の巻



延喜加持(えんぎかじ)の巻

しぎさんえんぎえまき
信貴山縁起絵巻(国宝)
命蓮上人に関する物語を描いたものです。第1巻は、鉄の鉢が空を飛ぶ不思議を描いた「飛倉の巻」、第2巻は、天皇の病を治した「延喜加持の巻」、第3巻は、姉の尼公が訪ねてくる「尼公の巻」の3巻に分かれています。創建当初の東大寺の大仏殿や当時のならわし、自然風景が描かれています。



嶋左近

嶋氏は、奈良興福寺の福貴寺庄を本拠地とし、これを守る下司職(役人)でした。当主は代々「左近」を名乗り、左近清興は筒井順慶の配下として、松永久秀と戦つたとみられています。晩年は、豊臣秀吉の家臣、石田三成の家老として仕えて関ヶ原の合戦で、戦死しました。「三成に過ぎたるものが二つあり、嶋の左近と佐和山の城」とうたわれるほど有名です。



椿井城跡

松永久秀

三好家のち織田家に仕えた武将で、永禄2年(1559)に信貴山城に入り、続いて奈良に多聞城を築きました。織田信長の後ろ盾を得て、筒井氏など来勢力との抗争を繰り返しながら大和の支配を進めました。信長に二度背いて信貴山城に戻った久秀は、天正5(1577)年10月10日に爆死しました。



嶋左近の人物像について

石田三成が自分の領地の半分を与えてまで、嶋左近を家臣に迎えたという逸話がありますが、近年の研究では、豊臣秀吉が石田三成の補佐役として佐和山城下において、付け家老とした可能性が高いと言われています。嶋左近の人となりは「猛将」「侍大将」など勇ましい印象が強いのですが、外交的で領国経営にも卓越した能力があったと言われています。また、今はありませんが、「百箇橋(全長約540m)」をかけたという記録もあります。

松永久秀の人物像について

13代将軍、足利義輝の殺害を共謀して、東大寺の大仏殿を焼き払ったことなどから「乱世の梟雄」と呼ばれ名を広めました。しかし、武将としての力量は高く評価されています。嶋左近が関ヶ原の戦いの際に「今時の諸侯は松永久秀のような果断にかけている」とぼやいたと言われるほど、敵将からも一目置かれる存在であったことがうかがえます。

● 乱世の梟雄…残忍さんんで強く、荒々(あら)しい人物のこと

久秀は
和歌や茶道の
たしなみもあった
文化人でも
あったんだよ。

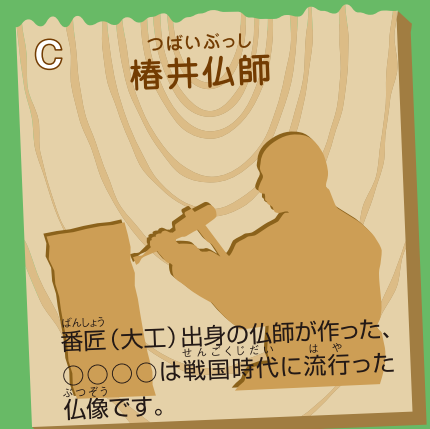
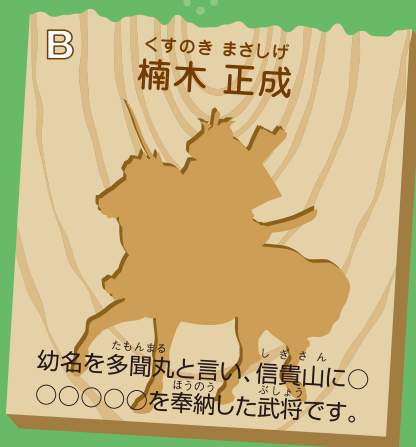
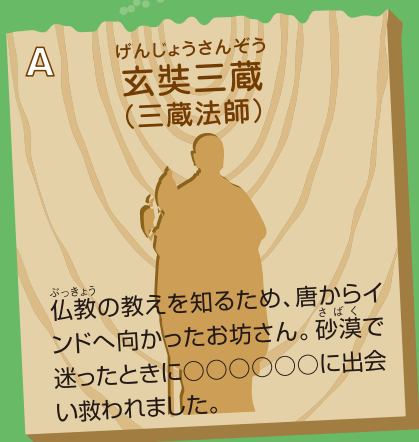


へぐりの文化財

へぐりにはたくさんの文化財がのこっています。これからもずっと大切にしたい宝物です。



関係のある人物と文化財を線でつないでみよう!



その他の文化財



■ 緑釉印花文陶器

新羅製で、印花文をスタンプして、緑釉を施した貴重なつぼの破片。三ツ池遺跡から出土し、元明天皇の高安城行幸に関連する可能性が考えられています。



■ 揺るぎ地蔵

千光寺参道に「揺るぎ地蔵」十三仏があります。元が日本を攻めてきたとき(元寇)、国の平安を守るために制作されたものです。



■ 役行者と前鬼・後鬼

千光寺の行者堂(開山堂)の本尊として祀られている木彫りの三尊像で、中央に像高1.1mの役行者が座り、左右に斧を持つ前鬼と壺を持つ後鬼が片膝をついて従っています。

へぐりの 歴史辞典

人 在原業平

ありわらのなりひら
伊勢物語の主人公とも言われ
る人物で平安時代の才色兼備の
武人です。天理市樸本の屋敷業
平神社から奈良盆地を西に、十
三峠を越えて八尾に住む女性の
もとに通ったと言われている。「業
平道」があります。また、業平がう
たった、古今和歌集の「千早ぶる神
代もきかず竜田川 から紅に水
くぐりて」の
歌は有名です。



物 椿井城

つばいじょう
室町時代に築城された山城で、南
北に300m以上あります。多くの
曲輪や堀切地面を掘って深く切り通
した堀、土塁が残っており、く部
に石垣もみられます。当初椿井氏が
築城して、平群谷北西から勢力を広
げた嶋氏が椿井氏を破って椿井城を
整備しました。戦国末には嶋左近と
松永久秀との間で何度も戦いが繰り
広げられたと考えられています。天
正8(1580)年、織田信長が筒井
順慶に命じて郡山城を残して大和の
諸城を取り壊させており、椿井城も
この時に放棄されたといわれます。

人 楠木正成

くすのきまさしげ
鎌倉時代末期から南北朝時代
にかけての武将で、鎌倉幕府から
悪党と呼ばれ建武の新政の立役
者忠臣として名高い人物です。と
もに鎌倉幕府を倒した足利尊氏
の反抗後は新政軍の中心的役割
を担い、湊川の合戦で尊氏軍に敗
れて自害します。母親が信貴山の
毘沙門天(多聞天)に100日間
お参りして正成を身ごもったとい
う伝説があり、幼名を多聞丸と名
付けられて、鎌倉幕府倒幕の挙兵
時に兜や軍旗を信貴山に奉納し
ています。



人…人物 物…もの 事…できごと



へぐり人物絵巻に登場した、人物、もの、できごとや
平群にゆかりのある人物など
ここでさらにくわしく学んでね。
これで君もへぐりの歴史博士になろう。



物 古事記

こしぎ
和銅5(712)年、穂田阿礼の
語りで、太安万侶が書いた日本最
古の歴史書です。上中下の全3
巻に分かれています。
内容は神代における天地の始
まりから推古天皇の時代に至る
までのさまざまなきごとが書き
こされています。また、たくさん
の歌謡も書かれており、
倭建命の国徳の
歌も記録されて
います。





人 武内宿禰

武内宿禰は、「古事記」や「日本書紀」では天皇の補佐として記録されています。平群氏、紀氏、葛城氏、蘇我氏、波多氏、巨勢氏、江野間氏など古代豪族の祖とされていますが、詳しくは不明です。また、明治時代の一円札や五円札に肖像画が使われました。



事 椿井井戸の伝説

聖徳太子と平群神手が物部守屋との戦いで、ここを訪れ、持っていた椿の杖をその場に突き立てて戦勝を祈願しました。すると、一夜にして杖が芽吹き、冷泉が湧き出したという伝説で知られる井戸で、「椿井」という地名の起りにもなっています。この水を太子とともに兵士たちが飲んだところ、土気があがり、勝つことができましたと、言われています。



物 金勝寺の磨崖仏

本堂西側の岩かげに、14体の磨崖仏が刻まれています。阿弥陀坐像や不動明王立像と並んで、高さ88cmの地藏菩薩立像には「茶々逆修」天正14(1586)年の銘があります。これは、戦国時代末期に平群台を支配した嶋左近の妻、茶々への生前供養と推測されています。【町指定文化財】



物 信貴山城

戦国時代大和の支配に乗り出した松永久秀が築いた、県内最大規模の山城です。信貴山雄嶽(海拔437m)山頂に天守跡といわれる削平地があります。建物は残されていませんが信貴山朝護孫子寺の境内地として破壊を免れて、堀や土塁(土を盛り上げて築いた防壁)、門、郭(堀・土塁堀などで囲われた区画)などがほぼ残っており、縄張り全体の姿や形が確認できます。天正5(1577)年、織田信忠の大軍に包囲されて10月10日に落城しました。【町指定文化財】

物 石床神社旧社地

巨大な磐座を直接拜む古い形態をとどめる古社で、祭神は剣刃石床別命です。高さ約6m、幅10数mもある御神体の岩は中央にひび割れがあり、女性のシンボル「陰石」としても信仰され、子孫繁栄、豊饒の神とされてきました。同質の一片麻状黒雲母花崗岩が烏土塚、西宮古墳にも使用されており、神社付近は古墳石材産地でもありました。

- 磐座…：神の宿る石。信仰の対象となる巨岩や集石
- 祭神…：神社に祀(まつ)っている神
- 豊饒…：農作物がよく実ること

人 平群廣足・平群廣成

へぐりのひろたり・へぐりのひろなり長屋王邸よりそれぞれの名が書かれた木簡が出土しており、有能で高潔な人格の長屋王に尊敬の念をもつて仕えていたことがうかがえます。

廣足は倭舞(朝廷儀式や諸社祭で舞われた雅楽)の名人で、宮中の雅楽寮より派遣を要請されています。

廣成は天平5(733)年遣唐使として唐に派遣されています。帰国後は順調に官位を進めて、最後には従四位上(長官クラスの官職)に任ぜられて役人のトップ30入りを果たしたと言われています。



check! → へぐりクイズ

～その一～

平群町の祖、平群木菟は、
今では伝説の
武
の四男と言われています。

～その二～

長屋王は奈良時代の
皇
です。

～その三～

えんのおづぬ
役小角は
千
を開いた人物で、平群町の歴史に名を
刻みました。

～その四～

しょうとくたいし しぎさん
聖徳太子が信貴山にお祈りしたとき、
びしゃもんてん
毘沙門天が現れたのは寅の年、寅の日、
寅
と言われています。

～その五～

嶋左近は、
石
の家老であり、
関ヶ原の戦いで戦死しました。

分からないところがある人は、もう一度読み直してみよう。



ノート

お問い合わせ

発行／平群町役場観光産業課
〒636-8585 奈良県生駒郡平群町吉新1-1-1
電 話：0745-45-1001(代)
観 光 情 報：0745-45-1017(観光産業課)
文化財・史蹟：0745-45-2101(教育委員会)